

# つばさ

地域の皆さまに信頼される病院として  
安全で質の高い医療を提供します。

独立行政法人地域医療機能推進機構  
神戸中央病院  
〒651-1145  
神戸市北区惣山町2丁目1-1  
TEL 078-594-2211  
FAX 078-594-2244  
<http://kobe.jcho.go.jp/>



## 精神科

精神保健指定医2名で精神科一般の外来診療を行っています。入院の必要な患者様や時間外の対応の必要になる患者様は入院病棟を有する精神科病院を紹介させていただいています。また、精神科全般に対応していますが、分析的な心理療法やカウンセリングなどの特殊治療は行っていません。初診、再診とも原則予約制で特に初診に関しては時間をかけてお話を聞かせてもらう都合上一日に受け入れられる人数を限定させてもらっています。

近年は高齢の方の受診が多く、ご本人あるいはご家族の方が何かしらの症状や問題を感じて来院されます。

認知症に関するご相談も増え、心理テスト、画像検査、血液検査などを行い、日常生活の様子を拝聴し総合的に判断し助言や加療を行っています。介護サービスやかかりつけ医への情報提供を行うこともあります。高齢者の精神症状や以前とは違った言動は、認知症が背景にあることもあればそうでないこともあり経過をみないと判断できないケースも多いです。個々のケースを丁寧に扱い、その人にあうハンドメイドな対応ができればと思っています。

最後に神戸市認知症検診についてご案内致します。まず簡便な一次検診を受け、詳しい検査が必要と判断された方が二次検診へと進むシステムです。当院では一次検診、二次検診ともに受け付けておりますが、一次検診の枠に限りがあり、問い合わせ申し込みただいてから3ヶ月から4ヶ月の予約待ちをさせていただいているのが現状です。二次検診に力を入れており、精密検査の必要な方にはできるだけ速やかに対応できるように受け付けています。一次検診は開業医の先生も受け付けておられ、二次検診が必要となった時点で当院にご紹介いただいていますので病院をうまく使い分けることも御一考かと存じます。微力ではありますが、総合病院の中にある精神科医療スタッフとしてできる限り貢献していきたいと思っております。

精神科 小城 加津子 医員

# うすく小児科クリニック

〒651-1112 神戸市鈴蘭台東町4-4-9 TEL 078-596-5630

診療科目：  
小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前診 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	×
予防接種・健診 13:00~15:00	●	●	●	×	●	×	×
午後診 16:00~19:00	●	×	●	×	●	×	×

※受付終了  
午前診:11:30  
午後診:18:30



宇宿 智裕 先生

鈴蘭台駅前に開業させていただき、5年余りが経過しました。当時の社会保険神戸中央病院小児科に赴任したのは2007年でした。当時の小児科部長の坂本泉先生（現・坂本小児科院長）には、感染症診療を中心に多く学ばせていただきました。夜間救急も積極的に受け入れており、病棟スタッフのスキルも非常に高く、感心させられることばかりでした。開業してからは急性感染症診療・予防接種に留まらず、アレルギー性疾患や神経疾患、小児の訪問診療などにも積極的に取り組んでおります。地域の子どもたちやそのご家族が安心して暮らしてもらえるよう、微力ながら今後も精進を続ける所存です。

JCHO神戸中央病院小児科の先生方には日頃より大変お世話になっております。医療システムの変化などにより、昔のように入院治療が難しくなっていますが、少し困る症例を快く受け入れて頂き、いつも助けて頂いています。他科疾患に関しても何かとお世話になっておりますが、意志疎通の難しい重度障がいのある成人患者様が、各科の先生方にフォローアップして頂いていることは特筆すべきことではないでしょうか。

お世話になることばかりですが、地域医療機能推進の一助となれるよう、ご指導よろしく申し上げます。



昭和37年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた男性の方へ

## 風疹の抗体価をご存知ですか?!

### 抗体検査と予防接種の無料クーポンについて

2019年度より、これまで風疹の予防接種の対象にならなかった昭和37年から昭和47年までに生まれた男性の方へ、抗体検査と予防接種の無料クーポンがお住まいの自治体より配布されています。

当院の外来では無料クーポンでの抗体検査が実施できます。健康管理センターでは健康診断と同時に抗体検査が実施できます。多くの病院やクリニックでも抗体検査と予防接種に対応されています。詳しくはお住まいの地方自治体のホームページや配布された風疹クーポンの添付書類でご確認ください。

### 風疹って?



淡紅色の発疹、リンパ節の腫脹、発熱の症状がみられる非常に感染力の強い病気です。

### どんな風に感染するの?



感染者の唾液のしぶき等の飛沫によって感染します。

### 妊婦さんは特に注意!



妊娠早期の妊婦が感染すると、赤ちゃんの眼や耳、心臓などに障害がでる先天性風疹症候群になる可能性があります。

予防接種を行い  
風疹の不安無く赤ちゃんを  
育める社会を  
つくりましょう!!

独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO)  
 神戸中央病院 第16回 市民医療セミナー

入 場 料  
 無 料  
 (申し込み不要)

# 知って安心女性に優しい医療のお話 ～昔と今で病気はこれだけ変わりました～

日 時 令和元年11月9日(土) 13:00開演

会 場 すずらんホール  
 (神戸市北区鈴蘭台西町1丁目26-1)

■検査コーナー(2階ロビー)  
 骨密度検査

11:00 抽選券配布・抽選開始  
 11:30 検査開始

■相談コーナー(2階ロビー)

12:00~13:00、13:50~14:05

看護師・理学療法士・作業療法士・  
 管理栄養士・薬剤師・医療福祉相談員、  
 パネル展示

## プログラム：講演会2階「大ホール」

### 第1部 市民医療セミナー

- 12:00 相談コーナー
- 13:00 開会の挨拶 病院長 大友 敏行
- 13:10 「ライフステージからみた女性の疾患と治療」  
 婦人科部長 辰巳 弘
- 13:50 休憩(15分)  
 相談コーナー(医師への質問を受け付けています)
- 14:05 「乳がんのはなし」  
 乳腺外科医長 西尾 実
- 14:30 「女性に多い運動器疾患  
 ～骨粗鬆症を中心に～」  
 整形外科部長代理 久保田迅是
- 14:55 閉会の挨拶  
 副院長・地域医療推進部長 松本 圭吾

### 第2部 第8回在宅医療・介護セミナー 北区医療介護サポートセンター主催

#### 「人生会議」～もしものときにどのような医療・ケアを希望しますか?～

- 15:10 開会の挨拶  
 神戸市北区医師会会長 入江正一郎
- 15:15 「人生会議ってなあに?」  
 慶応義塾大学医学部 山岸 暁美  
 衛生学公衆衛生学教室 講師
- 16:05 「意思決定支援  
 神戸プロジェクトについて」  
 神戸市医師会 水川 克  
 未来医療検討委員会委員
- 16:25 閉会の挨拶  
 北区医療介護サポートセンター  
 センター長 松本 圭吾

## 2019年度後期 外来看護相談会のお知らせ

フレイルという言葉をご存じでしょうか? 病気ではないけれど、年齢とともに全身の予備能力などが低下して、元気な状態から介護を要する状態へ移行する中間の段階のことを言います。「フレイル」の状態にならないよう予防することは、健康で長生きするために重要な事です。看護相談に参加して、フレイルの予防方法を学んでみませんか? 参加は無料で予約もありません。是非お越し下さい。

### 開催予定表

場 所  
 1階外来  
 玄関ホール

10月25日	10時30分～ 11時00分	健康長寿へのキーワード～フレ!フレ!フレイル予防!～
11月25日		インフルエンザについて
12月25日		健康長寿へのキーワード～フレ!フレ!フレイル予防!～
1月27日		ノロウイルスについて
2月25日		健康長寿へのキーワード～フレ!フレ!フレイル予防!～
3月25日		健康長寿へのキーワード～フレ!フレ!フレイル予防!～
4月27日		健康長寿へのキーワード～フレ!フレ!フレイル予防!～





## 肺癌の免疫療法について

2018年に本庶佑京都大学特別教授がノーベル医学生理学賞を受賞されたことで急速に脚光を浴びることになった癌免疫療法ですが、肺癌においては現在、殺細胞性抗癌薬、分子標的薬とともに免疫チェックポイント阻害薬が薬物療法の三本柱の一つとなっています。

2015年に抗PD-1抗体であるニボルマブが承認されて以降、ペムプロリズマブ（抗PD-1抗体）、アテゾリズマブ（抗PD-L1抗体）、デュルバルマブ（抗PD-L1抗体）が承認され、肺癌では現在4剤が使用可能となっています。

ニボルマブの保険適応は切除不能進行・再発非小細胞肺癌（NSCLC）の二次以降の治療に限定されていますが、ニボルマブより後で承認されたペムプロリズマブやアテゾリズマブはNSCLCの二次以降の治療のほか、NSCLCの一次治療で単剤（ペムプロリズマブのみ）あるいは殺細胞性抗癌薬との併用でも保険適応を有しています。

デュルバルマブは他の3剤とは異なり、Ⅲ期NSCLCの放射線化学療法後の維持療法で保険適応を有しており、さらに最近ではアテゾリズマブが進展型小細胞癌（ED-SCLC）の一次治療で殺細胞性抗癌薬との併用で適応追加（これまで小細胞肺癌の薬物治療は殺細胞性抗癌薬しかありませんでした）されるなど、免疫チェックポイント阻害薬の使用機会が急速に拡大しています。（表1）

しかし免疫チェックポイント阻害薬にも課題があります。恩恵を受けられるのは一部の患者様であり、また高額な薬剤であることから、治療効果を予測するバイオマーカーの開発が望まれます。現在臨床で使用されているのは腫瘍組織中のPD-L1発現割合（TPS）ですが、決して十分といえるものではありません。

また頻度は必ずしも高くないものの、下痢・大腸炎、間質性肺炎、内分泌障害（下垂体、甲状腺、副腎、1型糖尿病）、中枢神経障害（脳炎・脳症・髄膜炎）などの免疫関連有害事象（irAE）が問題となることがあり、早期の発見・対応が重要となります。倦怠感などの非特異的な症状が発見のきっかけとなることもあり、さらに種々の専門領域にまたがることから、irAEへの対応に際しては病院内での各診療科間の連携はもちろんですが、病診・病病連携も重要であると考えています。

表1:肺癌における免疫チェックポイント阻害薬

	ニボルマブ	ペムプロリズマブ	アテゾリズマブ	デュルバルマブ
抗体	PD-1	PD-1	PD-L1	PD-L1
投与方法	240mg; 2週間間隔	200mg; 3週間間隔	1200mg; 3週間間隔	10mg/kg; 2週間間隔
保険適応	<単剤> Ⅳ期NSCLC二次以降	<単剤> Ⅳ期NSCLC一次および二次以降 (※PD-L1≥1%)  <併用療法> Ⅳ期NSCLC一次 (CDDP/CBDCA+PEM) (CBDCA+PTX/nab-PTX)	<単剤> Ⅳ期NSCLC二次以降  <併用療法> Ⅳ期NSCLC一次 (CBDCA+PTX+BEV)  ED-SCLC一次 (CBDCA+VP-16)	<単剤> Ⅲ期NSCLC放射線化学療法後の維持療法

CDDP: シスプラチン, CBDCA: カルボプラチン, PEM: ペメトレキセド, PTX: パクリタキセル, nab-PTX: ナブパクリタキセル, BEV: ベバシズマブ, VP-16: エトポシド

## 外来講師による講演会予定 令和1年10月から12月 場所 当院 2階会議室

日時	講演内容	講師
11月7日(木) 19時00分～	第33回北神ストロークカンファレンス 「ここまでできる脳血管内治療 ～血管内1stでの現状、抗凝固療法の重要性～」	京都府立医科大学脳神経外科 南都 昌孝 先生
12月13日(金) 18時30分～	JCHO神戸中央病院 感染対策学術講演会	神戸市保健所長 伊地知 昭浩 先生

### 新任医師のお知らせ



コバタ ヒロシ  
小畑 裕史: 血液内科

10月より勤務させて頂きました。地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



コイダ アツヒデ  
鯉田 篤英: 耳鼻いんこう科

10月から赴任してきました。地域の皆様のお役に立てるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。

### 退任医師のお知らせ

呼吸器内科: 美藤 文貴

腎臓内科: 藤井 敦子